

《募集要領》

- 応募資格／中学生の部：愛知県内に在住または通学している中学生
高校生の部：愛知県内に在住または通学している高校生
- 表現内容／内容は、「エイズの予防」または「エイズ患者・HIV感染者に対する理解と支援」を爽やかに呼びかけるものとします。なお、ポスターには、この趣旨にそった言葉を入れてください。

例：「心配になったら、早く受けよう HIV 検査」、「感染不安があるなら、まずは保健所の無料匿名 HIV 検査」、「エイズは予防できる病気です」、「HIV の早期治療はエイズからあなたや大切な人も守ります」、「AIDS IS NOT OVER」、「あなたを守るのはエイズの正しい知識」、「AIDS…いま必要なのはあなたの愛と勇気です」、「エイズ予防強化週間」

※標語として「STOP AIDS」を単独で使用することはエイズ患者・HIV 感染者の方に否定的な印象を与えるため、望ましくありません。

- 応募規格／サイズは、JIS規格B3判又は四つ切り画用紙大とし、画材、縦横使い及びコピー・デザインなどの表現形式は自由です。ただし、既存のキャラクターは使用しないでください。
- 応募規定／応募作品は未発表のものに限り、入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。また、応募作品は原則として返却いたしません。
一作品ごとに裏面に氏名（ふりがな）、年齢、学校名、学校所在地、学校電話番号、学年・学級を記入して、愛知県保健医療局感染症対策課又はお近くの県保健所へ郵送又は持参してください。
コンクールの詳細、標語の例示、申込用紙は以下のウェブページ又は二次元コードから確認できます。
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/0000097465.html>)
- 締切／[郵送] 令和7年9月5日（金）（当日消印有効）
[保健所へ直接持込] 令和7年9月8日（月）
- 賞／[一席] 中・高校生の部 各1点 [二席] 中・高校生の部 各2点
[三席] 中・高校生の部 各3点 [佳作] 中・高校生の部 各数点
- 審査員／佐藤 直樹（愛知県立芸術大学教授）
（予定）村田 直哉（名古屋造形大学教授）
金子 典代（名古屋市立大学教授）
石田 敏彦（ANGEL LIFE NAGOYA 代表）
祖父江 達夫（愛知県教育委員会教育部保健体育課課長）
山本 誉也（愛知県保健医療局感染症対策課感染症対策担当課長）
- 入賞の通知／入賞者には在学する学校を通じて11月中に連絡します。（入賞者以外には連絡しません。）
- その他／入賞作品は「エイズキャンペーン」等で展示するほか、県が作成するリーフレット等での使用を予定しています。 ※入賞者には賞状と記念品（図書カード）を贈呈します。

（応募先一覧）

名 称	郵便番号	住 所	電話番号
愛知県保健医療局 感染症対策課	460-8501	名古屋市中区三の丸三丁目1-2	052-954-6626
瀬戸保健所	489-0808	瀬戸市見付町38-1	0561-82-2197
春日井保健所	486-0927	春日井市柏井町二丁目31	0568-31-2189
江南保健所	483-8146	江南市布袋下山町西80	0587-56-2157
清須保健所	452-0961	清須市春日振形129	052-401-2100
津島保健所	496-0038	津島市橘町四丁目50-2	0567-26-4137
半田保健所	475-0903	半田市出口町一丁目45-4	0569-21-3342
知多保健所	478-0001	知多市八幡字荒古後88-2	0562-32-6211
衣浦東部保健所	448-0857	刈谷市大手町一丁目12	0566-21-4778
西尾保健所	445-0073	西尾市寄住町下田12	0563-56-5241
新城保健所	441-1326	新城市字中野6-1	0536-22-2204
豊川保健所	442-0068	豊川市諏訪三丁目237	0533-86-3177

エイズ電話相談
愛知県エイズ情報センター
(052) 972-9200

「愛知」「エイズ」で検索！エイズのことは
アイチエイズインフォメーション
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/aids-nettop.html>



2025年度 エイズ 予防強化週間ポスター

作品
募集

愛知県内の中学生と高校生からエイズに関するポスターを
募集します！

エイズに対するメッセージをポスターに託そう！

2024年度中学生の部
うさみ
宇佐美マナさんの受賞作品

2024年度高校生の部
わたなべ な ほ
渡邊菜々穂さんの受賞作品



レッドリボン（エイズの理解と支援のシンボル）を使用して、エイズの啓発を呼びかけているイラストが素晴らしいです！



レッドリボン（エイズの理解と支援のシンボル）を使用して、社会全体で手を取り合う様子が表現されている点が素晴らしいです！



愛知県では、12月1日の世界エイズデーを中心としたエイズ予防強化週間の行事の一つとして、ポスターを募集します。ポスターを通じて、エイズに対する正しい知識やポジティブなイメージを県民の皆様が発信したいと思いますので、ふるって御応募ください。



保健医療局感染症対策課

2023年の1年間の報告者数

日本で 960 人、愛知では 85 人

HIVの発見から40年以上・・・
この間に治療方法は大きく進歩した
エイズの発症を抑える薬が開発され
早期に治療を始めて服薬を続ければ
日常生活を支障なく送れるようになった

でも、私たちはエイズに対する正しい
知識をアップデートできていないため、
偏見や差別が生まれ、予防行動や
HIV検査の受検も不十分です！

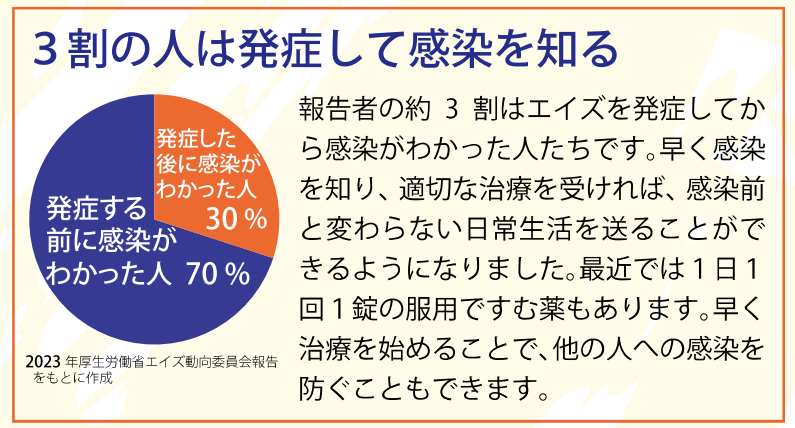
HIV/エイズは、まだ終わっていない
だから、1人ひとりが
HIV/エイズについて正しい知識を持ち
それぞれの立場から
「予防、検査、治療、理解」について
具体的な行動をとることが重要です！

HIV

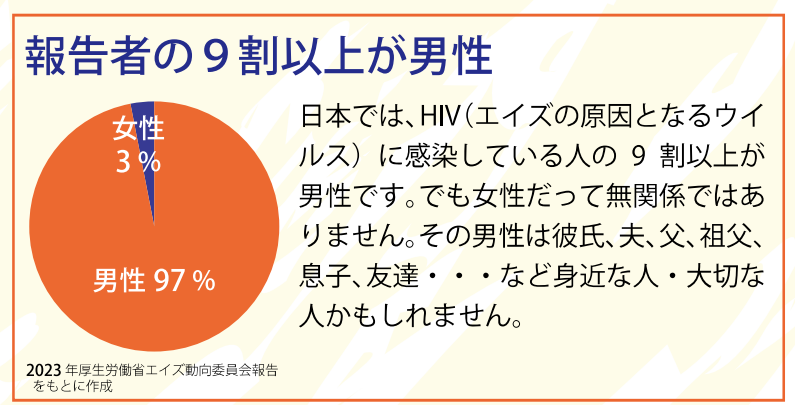
**エイズ
AIDS**

HIV はエイズの原因となるウイルスのことで、感染すると、からだを病気から守っている免疫力を低下させていきます。感染して2～4週間後に発熱、リンパ節の腫れ、頭痛など、風邪に似た症状が出る場合がありますが、ほとんどの人には症状がありません。感染後6～8週間で血液中にHIVの抗体ができますが、自覚症状のないまま数年間の潜伏期間(無症候期間)に入ります。症状が出なくても、HIVは感染している人の血液・精液などに含まれているので、これらが直接からだの中に入れば感染する可能性があります。

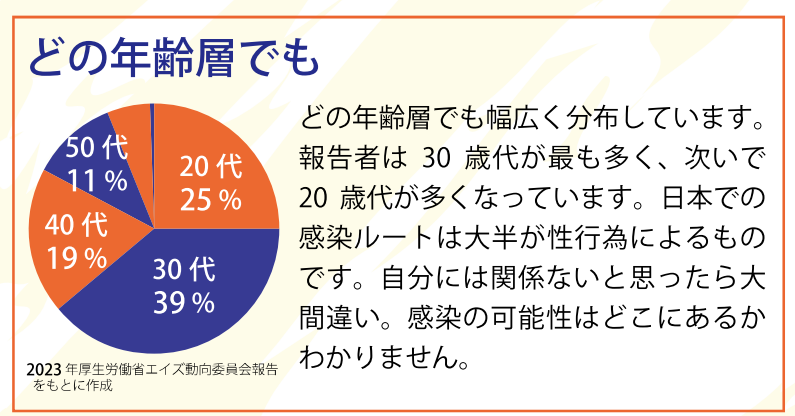
エイズ(後天性免疫不全症候群)は、HIVに感染することによっておこる病気です。HIVに感染し免疫力が低下すると、本来なら自分の力で抑えることのできる病気を発症するようになってしまいます。抵抗力が落ちることで発症する疾患のうち、代表的な23の疾患のいずれかを発症するとエイズ発症と診断されます。重症の場合、後遺症などが残ることもあるため、早く感染に気づき、治療を始めることが重要です。



報告者の約3割はエイズを発症してから感染がわかった人たちです。早く感染を知り、適切な治療を受ければ、感染前と変わらない日常生活を送ることができるようになりました。最近では1日1回1錠の服用ですむ薬もあります。早く治療を始めることで、他の人への感染を防ぐこともできます。



日本では、HIV(エイズの原因となるウイルス)に感染している人の9割以上が男性です。でも女性だって無関係ではありません。その男性は彼氏、夫、父、祖父、息子、友達・・・など身近な人・大切な人かもしれません。



どの年齢層でも幅広く分布しています。報告者は30歳代が最も多く、次いで20歳代が多くなっています。日本での感染ルートは大半が性行為によるものです。自分には関係ないと思ったら大間違い。感染の可能性はどこにあるかわかりません。

HIVの感染経路

主な感染経路は3つ

セックスでの感染



コンドームを使わないセックスで
あなたから相手へ 相手からあなたへ

日本国内で圧倒的に多いのが、性行為による感染です。HIVは主に血液や精液、膣分泌液に多く含まれていて、性行為中に性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通して感染します。他の性感染症と同様に、コンドームの正しい使用はHIV感染を予防する、最も有効な手段です。

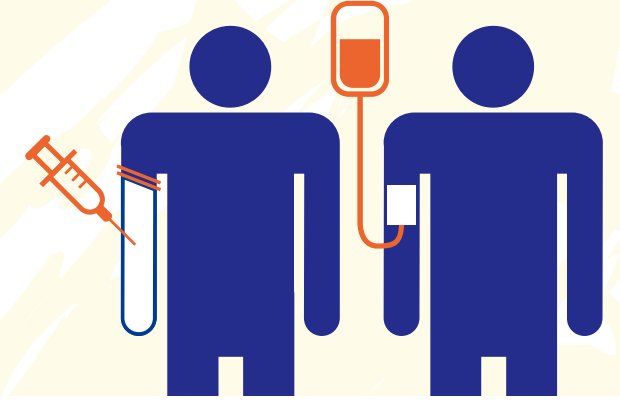
母子感染



妊娠・出産・授乳で 母から子へ

母親がHIVに感染している場合、妊娠中や出産時、また授乳時に赤ちゃんに感染することがあります。現在の日本では、母親がHIV感染症の治療薬を服用することや母乳を与えないことで、赤ちゃんへの感染を1パーセント以下に抑えることができます。

血液を介しての感染



輸血や、薬物使用の際の注射器の共有で
あなたから相手へ 相手からあなたへ

HIVが存在する血液の輸血や、依存性薬物(覚せい剤など)の使用における注射器具の共有などが原因で感染します。日本国内で献血された血液は厳重な検査により最高水準の安全が確保されていますが、HIV感染の可能性を完全には排除できません。

こんな事では HIV は感染しません！



同じ鍋や皿の料理を食べる ノミや蚊に刺される 洋式トイレの便座 キス 握手・抱擁・ボディタッチ
飲み物を回し飲みする

HIVは感染力が弱く、日常生活においては性行為以外で感染することはありません。性行為でのHIV感染を防ぐためには、コンドームを使用することが重要です。また、HIVに感染した人が早期に治療を開始することにより他の人への感染を防ぐこともできます。

感染しているかどうかを知るには？

HIV感染に特徴的な症状はありません。HIVに感染したかどうかを調べるためには、早期にHIV検査を受けるしかありません。HIV検査は愛知県内の保健所・保健センター等で無料・匿名で受けられます。詳細はアイチエイズインフォメーションで御確認頂けます。
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/aids-nettop.html>



アイチエイズインフォメーション
のWebサイトはこちらから